



# C プロジェクト計画

流域のみんなが進めた大和川の一角。

## 実施事項報告2008 概要

Cプロジェクト計画の「C」とは、  
水質の悪い大和川というイメージを変える **“Change”**  
流域全体が連携 **“Collaborate”**  
力を集中 **“Concentrate”** …を意味しています。



平成21年1月

**Cプロジェクト計画 担当者会議**  
(国土交通省・大阪府・奈良県・流域市町村)

Cプロジェクト計画は、平城遷都1300年となる2010年  
を目指して、流域一帯で大和川再生を加速させる計画  
です。







# 流域住民と行政とのパートナーシップ



## Cプロジェクト計画とは…

平城遷都1300年にあたる2010年(平成22年)を目標年とした”大和川の再生を加速する”計画です。流域住民と行政とのパートナーシップにより、様々な取り組みを推進していきます。

## 計画策定までの経緯

2004年

大和川付替え300周年

- ◎大和川付替え300周年を記念し、下流部の大阪で様々な行事を開催
- ◎大和川本川のBOD値が41年ぶりに環境基準レベルを下回る
- ◎大和川クリーンキャンペーン20周年

2005年3月

大和川水環境サミット

◎国、府県、流域市町村の代表が集まる

「大和川水環境サミット宣言採択」

Cプロジェクト計画の立案が決定

2006年9月

大和川フォーラム(大和川サミット)

◎国、府県、流域市町村の代表と流域住民が集まる

「Cプロジェクト計画」策定

「流域交流会」開催

## Cプロジェクト計画の目標と意義

大和川水環境サミットで掲げられた3つの目標。

### 1 生命・財産を守る安全で安心な大和川

多くの人口や資産、近畿圏の政治経済の中核機能が集積し、首都機能の代替を果たしうるこの地域において、人々の生命・財産・暮らしを守る安全・安心な大和川を目指し、流域の特性を踏まえて上下流のバランスをとり、関係機関が連携して治水対策等を進めます。

また、子どもたちが水しぶきをあげていきいきと遊べるような安全な水辺空間の創出を目指し、流域住民と行政とのパートナーシップにより水環境の再生を図ります。

### 2 次世代に伝える美しい大和川

万葉の古来より多くの人々に愛された美しい大和川を再生させ、次世代に伝えていくことを目指し、流域の関係行政機関が緊密に連携することにより河川・下水道等の機能を最大限に活用し、また、流域住民と行政とのパートナーシップによる水環境再生や河川環境の保全等の取り組みを進めます。

### 3 地域を育む豊かな大和川

一昔前まで子どもたちが水しぶきをあげながらいきいきと遊び、泳いでいた大和川、人々が集う大和川を目指して、大和川をより一層理解するための上下流・左右岸交流を進めるとともに、流域住民と行政とのパートナーシップをより一層充実させるネットワークづくり等を進めます。

これを推進することで…

日本全国の河川の目標になる

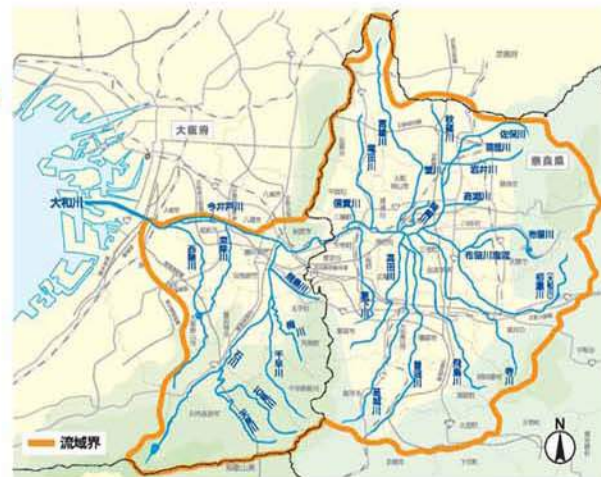
流域の一体感を醸成し、大和川の価値を高める

悠久の歴史を有しながらも水資源に恵まれず、水質等多くの課題を持つ大和川を再生することは、日本全国の河川の目標となりうるものです。

また、流域一体の取り組みを通じて上下流や左右岸がひとつにつながっていることを認識することは、大和川の価値を高めることにも結びつきます。

## 対象とする地域

- ・国土交通省・大阪府・奈良県
- ・大阪市・堺市・八尾市・富田林市・河内長野市・松原市・柏原市
- ・羽曳野市・藤井寺市・大阪狭山市・太子町・河南町・千早赤阪村
- ・奈良市・大和高田市・大和郡山市・天理市・橿原市・桜井市・御所市
- ・生駒市・香芝市・葛城市・宇陀市・平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町
- ・川西町・三宅町・田原本町・高取町・明日香村・上牧町・王寺町
- ・広陵町・河合町・大淀町



## それぞれの役割

### 府県

生命・財産を守る安全で安心な大和川

- ◆河川整備計画の策定
- ◆浸水想定区域図作成
- ◆河川改修
- ◆防災意識の啓発
- ◆土砂災害警戒区域の指定
- ◆防災情報提供の体制づくり等

次世代に伝える美しい大和川

- ◆意識啓発、教育、情報発信
- ◆生活排水対策社会実験の実施
- ◆清掃イベントの共同開催
- ◆下水道整備の推進
- ◆高度処理施設整備の推進
- ◆浄化槽整備の推進等

地域を育む豊かな大和川

- ◆住民、NPOへの支援活動
- ◆活動交流の場の提供
- ◆アドボカシー制度の導入等

### 住民

生命・財産を守る安全で安心な大和川

- ◆防災意識の向上
- ◆防災訓練への参加等

次世代に伝える美しい大和川

- ◆意識の転換
- ◆ライフスタイルの変換
- ◆下水道接続の推進
- ◆浄化槽の適正管理
- ◆清掃活動の実施等

地域を育む豊かな大和川

- ◆住民、NPO活動
- ◆周辺地域や上下流域の活動団体との交流
- ◆利用を通じた環境とのふれあい等

### 市町村

生命・財産を守る安全で安心な大和川

- ◆河川整備基本方針・河川整備計画の策定
- ◆浸水想定区域図作成
- ◆河川改修
- ◆地すべり対策
- ◆防災ステーションの整備等

次世代に伝える美しい大和川

- ◆河川浄化施設整備
- ◆生活排水対策社会実験の実施
- ◆魚道の改修
- ◆出前講座の実施
- ◆清掃イベントの共同開催等

地域を育む豊かな大和川

- ◆水辺の楽校の整備
- ◆交流会の共同開催等

生命・財産を守る安全で安心な大和川

- ◆洪水ハザードマップの作成
- ◆土砂災害ハザードマップの作成
- ◆防災意識の啓発
- ◆防災訓練の実施等

次世代に伝える美しい大和川

- ◆意識啓発、教育、情報発信
- ◆生活排水対策社会実験の実施
- ◆調査内容の公開
- ◆清掃イベントの共同実施
- ◆下水道整備の推進
- ◆浄化槽整備の推進
- ◆イベント開催、きっかけ作り等

地域を育む豊かな大和川

- ◆住民、NPOへの支援活動
- ◆活動交流の場の提供
- ◆交流会の共同開催等

詳しくは次ページ以降へ…



# 流域で取組まれたCプロジェクトの成果



**1 大和川・石川 クリーン作戦**  
 <国交省・大阪府・流域市町村>  
 H20. 8. 2に大和川・石川クリーン作戦が行われました。参加者は過去最高の約2万人、収集したゴミは約250トンでした。



**2 水辺環境学習支援 <八尾市>**  
 長瀬川の流域にある小学校において、水質及び生物に関する水辺環境学習の支援を実施しました。H19. 6~11にかけて全6回実施し、延べ参加人数は650名となっています。参加者からは良好な感想をいただいています。



●多自然川づくりによる河道整備 <大阪府>

飛鳥川、天見川、佐橋川では多自然川づくりによる河道整備を進めています。また、西除川では、川に下りることができ親水空間の整備に取り組んでいます。



**5 親子・水辺の観察会 <羽曳野市>**  
 H19. 7. 28、石川河川公園「あすか花回廊」で開催しました。親子連れやグループ等、106名が参加し石川の様子を観察、専門講師からのクイズを交え、生き物の生態や川の話を楽しみました。



**3 楽しいんやさかい 大和川水辺の祭校 <堺市>**  
 H19. 7. 28に「一日水辺の祭校」が開催され、約1,000名の参加がありました。当日は様々なプログラムが用意されていたこともあり参加者に好評でした。



**4 狭山池クリーンアクション <大阪狭山市>**  
 狭山池祭り実行委員会により定期的な清掃活動や水質浄化運動が年12回実施されています。同委員会は平成19年度の大坂環境賞奨励賞を受賞しています。



**6 親子のふれあい 自然学習会 <河内長野市・大阪狭山市 千早赤阪村・富田林市・太子町 河南町・大和川水環境協議会>**  
 河内長野市が中心となり、近隣の市町村、大和川水環境協議会との協働事業として親子のふれあい自然学習会をH19. 8. 3に開催しました。当日は約150名の参加がありました。



**9 葛城川の改修が完了 <奈良県>**  
 緑に包まれた潤い豊かな水辺空間を創出し住民の憩いの場の形成を目指した「ふるまとの川モラル事業」に指定されていた葛城川の改修が完了しました。

備考) A~Dの詳細はP5~6に掲載しています。



**11 第18回 竜田川クリーンキャンペーン <生駒市>**  
 H19. 11. 18に第18回竜田川クリーンキャンペーンが実施されました。約1,200名の参加者によって回収されたゴミの量は約7トンになりました。



**8 大和川合同水防演習 <国交省・奈良県・流域市町村>**  
 H20. 5. 11に「平成20年度大和川合同水防演習」が開催されました。参加者の防災意識を新たにしてもらうために、防災訓練だけでなく、パネル展示や体験コーナーも設置しました。



**10 第4回生駒郡総合防災訓練 <平群町、三郷町、安堵町、斑鳩町>**  
 H19. 11. 25に竜田運動公園（健民グラウンド）で、生駒新層などの内陸型地震災害を想定した防災訓練が生駒郡4町合同で行われました。町民と消防・警察など各関係機関と連携して、実践的な訓練を行いました。



●山の日・川の日イベント <奈良県>  
 川の魅力についての関心と理解を深め、山や川の果たす役割の重要性やもたらす恩恵について認識を新たにするきっかけとなるイベントを大和川流域内で開催しました。



**7 まほろばフェスタ <橿原市>**  
 H19. 9. 15~16に開催した「まほろばフェスタ」で、河川に棲む生物の水槽展示や生活排水クイズを通じ、啓発活動を行いました。



**12 大和まぐらい万葉まつり <桜井市>**  
 H19. 9. 8に第33回大和まぐらい万葉まつりを開催しました。お祭りでは歌垣火送り、現代版「海柘榴市」、川舞台での催しなど川を中心としたイベントを行いました。また、環境にやさしい祭りとして、食器のデポジットを導入しています。



●飛鳥川流域生活排水対策推進会議 <橿原市、川西町、三宅町、田原本町、明日香村>  
 地域住民の水質保全に関わる意識の高揚を図るとともに、「水遊びのできる川づくり」を目指して、廃食用油の回収、啓発活動の実施、河川清掃の実施等の事業を行っています。廃油の回収量は平成19年度で約1万4千リットルと過去最高となりました。



**13 親子水探検講座 <橿原市>**  
 NPOとの協働事業として親子水探検講座をH19. 8. 26に開催し22名の参加がありました。参加者からは水生生物と触れ合うことで水に親しめたという感想をいただいています。



●生活排水対策社会実験 <大阪府、奈良県、流域自治体>  
 大和川流域全体が協力し、H20. 2. 16~22にかけて生活排水対策社会実験を実施しました。



# 流域で取組まれたCプロジェクトの成果（市町別）

## 大阪府

### 大阪市

- H20.3.2に住之江区、住吉区で散在ゴミの回収など清掃・美化活動を実施。370名が参加し、1.5tのゴミを回収。
- H19.5に大和川右岸水防事務組合の水防訓練を国土交通省と連携して実施。約450人が参加。
- 雨天時に合流式下水道から大和川へごみ等が溢れ出ないようにする装置を設置・運用。

### 堺市

- 環境学習会「エコクッキング」を実施。20人が参加。
- H19.9.30に内川河川敷にて、市民交流と魅力あるまちづくりの一環として、活動発表やパネル展示などの各種イベントを実施。約6,000人が参加。

### 八尾市

- H19.5に大和川右岸水防事務組合の水防訓練を国土交通省と連携して実施。約450人が参加。
- ▲大正橋上・下流での清掃、美化活動の実施（H19.7、H20.3）

### 柏原市

- 大和川・石川・寝屋川流域についてハザードマップを作成し、市内全戸に配布。
- ▲柏原市雁多尾畑地内にある一般廃棄物最終処分場跡地「菟田古道の里山」に市民ボランティアを中心に月1~2回植樹を行い、花の山に再生。



▲菟田古道の里山「桜」植樹の様子

### 羽曳野市

- 東除川・石川・大和川についてハザードマップを作成し、HPに掲載すると共に市内全戸に配布。
- 台所からの浄化対策など、家庭での工夫を学習する料理教室「エコクッキング教室」を年2回実施。



▲エコクッキング教室の様子

### 藤井寺市

- 大和川・石川・東除川・平野川についてハザードマップを作成し、市HPに掲載すると共に配布。
- ▲藤井寺市恵美坂地区と梅が園地区において浸水対策事業を実施。
- 藤井寺市区長会（自治会代表）による自主防災会ネットワークによる組織の立ち上げ、防災課題の研究や訓練を実施

### 大阪狭山市

- 年3回、河川敷の不法投棄パトロールを実施。
- ▲H19.11.23、市立総合体育館にて環境・リサイクルフェアを実施。18,000人の参加。
- 市民協働活動事業。市民ボランティアによる毎月の清掃活動や水質浄化運動の実施

## 河内長野市

- 天見川の水の中生物やまわりの植物の調査及び水質検査を実施。天見川上流・中流・石川において小学校4~6年の児童が延べ144人参加。
- 健全で豊かな環境を住民共有の資産として次代に継承していく必要性を自覚し、そのための行動を促していく環境教育の一環として、はがき絵コンクールを実施。市内幼稚園、小学校等から約5,500枚の応募。
- 環境パトロール活動週4回実施。ポイ捨て、不法投棄禁止看板等を配布。

## 松原市

- 大和川、東除川のハザードマップの作成、公表。
- H19.2.16~22、モデル地区今井戸川流域において生活排水対策社会実験を実施。
- アドプトリバー制度の一環で、西除川の美化活動を年3回実施。

## 富田林市

- 土砂災害警戒区域等の指定（28箇所）に伴う基礎調査についての説明会を実施。
- 農業祭・ふれあい祭を実施。

## 河南町

- 国・府の補助事業を活用し、合併浄化槽の普及・促進に努める。
- H19.9に町内の道路、河川、公園等を対象に清掃活動（クリーンキャンペーン活動）を実施。参加者は約5,000名。

## 奈良県

### 奈良市

- 自然観察会を実施し、参加者の感想は良好。
- 奈良県、奈良市協力のもと、H19.5.20に地元自治会等住民で組織した「佐保川清掃対策委員会」主催の「佐保川清掃」を実施。近隣住民の約1,500人が参加。



▲リバーウォッチング親子の集いの様子

### 大和郡山市

- 使用済食用油の拠点回収を実施。
- 下水道の日に、市内主要駅前にて啓蒙グッズを配布し、下水道の役割を伝えた。

### 天理市

- 「布留川流域でホテルをさがそう」をテーマに生物が住める自然環境の保全をめざす目的で「ふる里ウォッチング」を開催。市内小学生の親子を対象としてH19.6.9に実施。41人参加。
- 「下水道の日」を中心に下水道接続率向上のための訪問調査。（訪問件数1,450件）



▲ふる里ウォッチングの様子

## 橿原市

- 不法投棄対策として、河川流域の監視パトロールの実施
- 市内の希望する小学校4年生の児童を対象に、総合学習の時間に出前授業を実施



▲出前出張講座の様子

## 桜井市

- 情報連絡体制の整備として『桜井市安心安全システム』を導入。市民には「気象情報」、「地震情報」や「避難勧告・指示」などのお知らせを提供し、職員には気象・地震情報以外に職員参集に関するメール配信を実施。
- 第14回桜井市環境フェアをH19.10.28に開催。参加者は約5,500名で、資源物持参を呼びかけて、リサイクルの啓発を行った。ごみ減量と資源化・再利用に向けた啓発や不法投棄防止、各種団体による環境保全の取り組みなどを紹介し概ね好評であった。

## 生駒市

- 奈良県の調査結果をもとに土砂災害マップを作成し各戸に配布。
- 生活排水対策の出前講座や、イベントへの啓発展示コーナーの設置、食用油の回収等、様々な取り組みを通じた啓発活動を実施。



▲出前講座の様子

## 香芝市

- H19.11.4に「香芝ふれあいフェスタ」環境ゾーンでの大和川博士講演実施、ブースでのパネル展示及びチラシ配布を実施。イベント全体で約3万人が来場し、非常に好評を博した。
- 水質改善強化月間中のHPへの記事掲載、チラシ・啓発商品の配布など様々な啓発活動を展開。



▲香芝ふれあいフェスタの様子

## 平群町

- H19.5.29、9.2に「ふるさとへぐりクリーンアップ作戦」を実施。2回で計558人が参加、計615tのゴミを回収。
- 下水道の整備および接続率の向上に努めた結果、接続率が大幅に向上。（約14%→約52%）

## 三郷町

- 信貴川流域の自治会へチラシ等を配布し、生活排水対策社会実験参加の呼びかけをし、実験前と実験中の水質検査を実施。
- 町内3箇所の駅前でチラシ、啓発物品を配布、広報誌による生活排水対策の呼びかけを実施。

## 斑鳩町

- 大和川の支流である三代川の植栽、除草等の河川管理と愛護における活動の継続を支援するため、助成を実施。
- 斑鳩町職員や住民が参加して河川の周辺を清掃する「清流復活大作戦」をH19.11.18に実施。参加者約660人。
- 町内7つの「いこしえの道」でいかるがの里クリーンキャンペーンをH19.6.17に開催。参加者は1,035人で、回収したゴミは約255kgにのぼった。

## 葛城市

- H19.8.25、葛城市富麻文化センターにて、「防災講演会」を開催。市民、関係者300人が参加。安全が守られ、安心して暮らせる町を目指し、市民や防災関係者の防災意識の高揚を図る。
- H19.5.20および10.14に、市内一斉清掃を開催。
- 警報等の気象情報を防災行政無線放送・有線放送での住民への周知。H19年度は台風接近時及び警報等発令時15回実施。

## 河合町

- 不法投棄対策として、河川流域の監視パトロールの実施。
- 毎年9月の第3日曜日に町全体の清掃活動として「かわいクリーンデー」を実施。計4,333人が参加し、計16tのごみを回収。

## 御所市

- 社会見学として市内各小学校毎にクリーンセンター内の施設見学及び環境問題についての講座を開催。（市内小学4年生を対象）
- 市のホームページや生活排水対策パネル展、啓発コーナー設置、広報誌による浄化槽の適正管理の啓発を実施。
- 小中学生による広報、作文、絵画等の公募を実施。（約60人の応募）

## 川西町

- 広報誌等による生活排水対策の啓発の掲載、街頭等における啓発チラシの配布を実施。
- 自然観察会、源流探検などを実施し、15人が参加。

## 三宅町

- 三宅町独自で散在ゴミの回収などの清掃・美化活動を1回実施。100人が参加して3tを回収。
- 食用油回収、リサイクル活動を1拠点で随時実施しており、1,040リットルを回収。

## 田原本町

- 水環境に対して家庭版ISOの取り組み。47世帯が取り組み中。
- 看板設置や町広報誌を利用した不法投棄禁止の啓発や関連情報の提供を実施。
- 環境パトロール活動を12回実施。



▲家庭版ISOの取り組み

## 上牧町

- 広報誌：2回/年、町イベント：1回/年（ベガスフェスタ）での水環境に対する意識啓発を実施。
- 町イベントとして滝川（支流）クリーンキャンペーン（1回/年）の実施で45名が参加。

## 王寺町

- 広報誌による浄化槽の適正管理の啓発を2回実施。
- 小学5年生（約200人）が環境啓発ポスターを作成し、H19.9.23に開催した「ベルフェスタ」のエココーナーに掲示。

## 広陵町

- ポイ捨て、不法投棄禁止の看板等を5箇所、計20枚設置。
- 町内小、中学生による町内一級河川及びため池6ヶ所の自然観察及び源流探検を16回実施。



# 奈良県山の日・川の日

奈良県では平成20年7月に、7月第3月曜日を「奈良県山の日・川の日」とする条例が制定されたことを受け、平成20年7月21日に県内各地でイベントが開催されました。

大和川流域でも5つのイベントが開催され、いずれのイベントも参加者の感想は好評でした。

今後は、既存のイベントを軸としてさらに内容を検討するとともに、関係機関との連携を図りながら、条例の趣旨にふさわしい取り組みを継続していきたいと考えています。

## 川とのふれあい ～施設見学・リバーウォッチング～



小学生とその保護者を対象に大和川の上流にある初瀬ダムの内部や操作室の見学と大和川上流(初瀬川)でのリバーウォッチングを行いました。

## 水質改善講座 ～アクリルタワシ作製講座～



アクリルタワシを作製するだけでなく、大和川の汚れやその原因、現在の大和川の水質についての情報提供も行っています。  
H20.7.23,7.31他、1年間に5回開催しました。

## 亀の瀬地すべり見学会



亀の瀬において、集水井工、排水トンネル、深礎工、資料室等の地すべり対策の見学会が行われ、35名が参加しました。

## 川の歴史・文化講座 ～万葉集にみる飛鳥川～

川の歴史・文化講座～万葉集にみる飛鳥川～が行われ、14名が参加しました。

## 川の清掃 ～河川の一斉清掃デー～

当日、佐保川、竜田川、高田川において、7.27には、高取川で開催し、約940人が参加しました。

# 大和川市民ネットワーク

大和川市民ネットワークは、H19.9に開催された「このゆびと～まれ！大和川の集い」において、参加者の皆さんから設立の要望が上がり、以来設立準備会を立ち上げ、H20.3に設立されました。

奈良県・大阪府で活動している様々なNPO等の団体、学校、民間企業などが集まり、「情報の交流」、「人的・物的な相互支援」、「行政への施策提言」、「学校・社会教育への住民参加」等を目的として、ニュースレターの発行や各地で取り組みの交流を実施しています。

今後、大和川市民ネットワークを通じて行政と住民との地域連携が活発になると思われます。



# まるごとまちごとハザードマップ

「まるごとまちごとハザードマップ」は、日常時には洪水への意識を高めるとともに浸水深や避難所等の情報提供として、災害発生時には安全かつスムーズな避難行動の手助けとなるよう、情報を街の中に表示したもので、松原市は大和川河川事務所と協力しながら大阪府下で最初の「まるごとまちごとハザードマップ」の看板設置（4箇所）、ポスター作成、地域住民への周知を行いました。

今後は、「まるごとまちごとハザードマップ」を用いた防災訓練の実施などを通じて、地域防災力が向上していけるよう、自治体や地域住民と一体となった取り組みを進めていく予定です。なお、「まるごとまちごとハザードマップ」は、他地域での設置も進める計画です。



【設置前】



【設置後】

## この冊子に対するご意見・ご感想等は 下記までお寄せ下さい。

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所 調査課  
〒583-0001 大阪府藤井寺市川北3-8-33  
URL:<http://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/>



この冊子は本編の内容を分かりやすくまとめたものです。

詳しくは本編と水環境編をごらんください。お問い合わせは、お近くの国・府県・市町村の大和川Cプロジェクト計画担当までお願いいたします。